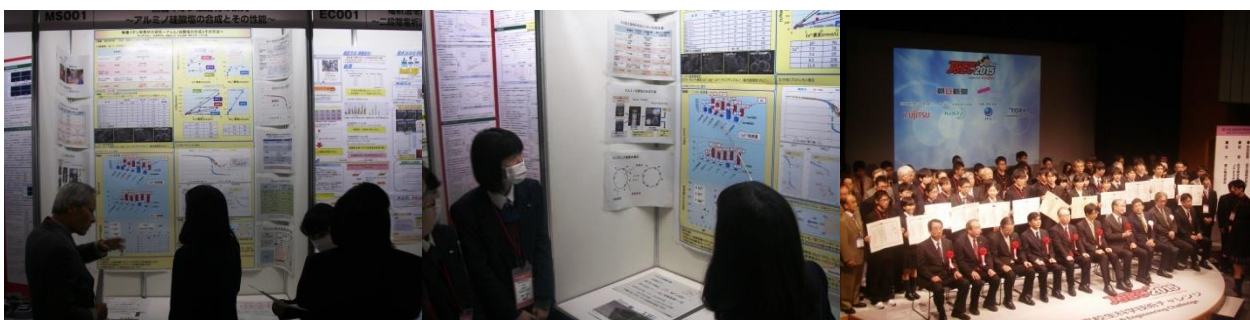


## JSEC2015 最終審査会へ出場

平成 27 年 12 月 12 日（土）、13 日（日）に、日本科学未来館で開催された JSEC2015 最終審査会で理数科 3 年生の岡田遙香さん、橋本光来さん、三木千聖さん（研究テーマ：無機イオン吸着剤の研究～アルミノ珪酸塩の合成とその性能～）が研究発表を行いました。当日は全国 255 件の応募の中から選ばれた 30 点の発表がありました。本校でこの最終審査へ進んだのは 7 年ぶりの快挙でした。



## 科学キッズフェスティバルでボランティア活動

平成 27 年 12 月 13 日（日）に、岡山県生涯学習センターで開催された「科学キッズフェスティバル in 京山祭」で理数科 1 年生 11 名の生徒がボランティア活動を行いました。银杏祭の時にクラス展示したものの中から、小学生が喜んで体験できるものを選び、実験ブース「葉脈標本」、「ダイラタンシー」を出品しました。



## ニュートリノ講演会

平成 27 年 12 月 19 日（土）に、大学共同利用法人高エネルギー加速器研究機構素粒子原子核研究所副所長の小林隆先生をお迎えし、「謎の素粒子ニュートリノで探る極微の世界と宇宙」という演題で講演会が行われました。講演の内容は、素粒子、特にニュートリノの解説に加えて、ニュートリノ振動についての音叉を用いた解説や神岡の大規模検出器、東海村の加速器についても触れられ、今後の加速器実験でつくられるミュートリノ、反ミュートリノからわかる素粒子物理学の展望についてでした。

1, 2 年生の希望者対象ということで、1 年生理数科および理系希望者と 2 年生理系・理数科の希望者、講演内容に興味があるものが 85 名集まりました。内容に難解な部分もあったが、最先端でしかも旬なテーマに引き込まれた生徒が多かった。また、ニュートリノに対して「不思議」「興味深い」「驚き」「疑問」など、今後の学習意欲につながるコメントが多数あげられ、実り多い講演でした。

